

府立学校の在り方懇話会（第5回）の開催概要

1 日 時 平成14年1月10日（木）10：50～11：30

2 場 所 京都府公館 レセプションホール

3 出席者

（懇話会委員）18名＜欠席 4名＞

（京都府教育委員会）武田教育長、津守教育次長、太田指導部長、松本指導部理事、
竹岡障害児教育室長、塩見高校教育課長、関係課長ほか

4 概要

(1) 協議

ア まとめ（案）について

各部会の副会長からまとめ（案）について説明があり、最終確認を行った結果、案のとおりで、教育委員会に提出することが承認された。

＜委員の意見要旨＞

- ・ 養護学校等の教育においては、先生方の資質が非常に重要だと考える。関連意見にも入れているが、資質向上のためには、全般的な指導力に裏打ちされた障害児教育の専門性が必要であり、一般校との人事交流が不可欠である。また、一般校にも障害のある子どもたちが多く在籍しており、養護学校の専門性を地域に還元したり、逆に地域の先生方が養護学校で学んでいただくという交流を積極的に行う必要がある。そうでなければ、現実として養護学校の先生方の高齢化傾向もあり、学校の活力が落ちていく可能性もある。

イ まとめの提出について

まとめの提出は、座長、副座長に一任することで了承され、別途日程調整の後、教育長に提出することが確認された。

(2) 教育長あいさつ

委員の方々には平成12年の5月から本日まで2年間にわたり、たいへん熱心に、議論いただき、本日、最終のまとめをまとめていただいた。本当にありがとうございました。

特に、小寺委員には座長及び高校教育部会の部会長として、友久委員には副座長及び障害児教育部会の部会長としてたいへんお世話になりました。また、各委員には、各界から出ていただき、幅広い見地から、また、専門的な見地から御議論いただいたことに厚く感謝を申し上げます。

教育委員会としては、平成12年12月にいただいた中間まとめを受け、高校教育については、来年度の入学者選抜から山城北・南通学園について普通科第 類を単独選抜とすることを決定している。その他についても、関係の市町村教育委員会、校長会等とも十分調整をして、できることから早くやっていきたいと思っている。

また、障害児教育については、今年度、養護学校の再編整備の予算をいただいております。現在、再編整備計画を策定中であるが、北部地域については、舞鶴に新たに養護学校を設置するとしたところである。南部地域については、まだ確定はしていないが、3月までにはその方向性を決めたいと、現在精力的に検討を進めている。

まとめていただいた府立学校の在り方については、関係の市町村教育委員会、校長会等とも十分調整する必要もあり、実現するには時間がかかることもあるが、基本的にはまとめの方向で、一日も早い実現に向けて頑張っていきたい。京都府の子どもたちが、まとめの方向での改善の中で生き生きと学校生活を送り、21世紀を担う人材として育っていくように我々も努力したい。今後とも、皆様のいろんな形での御理解、御協力をお願いしたいので、よろしく願います。2年間本当にありがとうございました。